



はこだて Marine Letter

令和4年7月 No.110

台風シーズン到来！（いかなる台風や熱帯低気圧にも、油断は禁物です。！）

台風の大きさと強さ

台風とは、中心付近の最大風速（10分間の平均風速）が17.2m/s以上の熱帯低気圧です。

台風の「大きさ」は強風域の半径、「強さ」は中心付近の最大風速で表現されます。強風域とは最大風速が15m/s以上の領域、暴風域とは、最大風速が25m/s以上の領域です。

大きさ⇒ 大型（大きい）（強風域の半径550Km以上800Km未満）

超大型（非常に大きい）（強風域の半径800Km以上）

強さ ⇒ 強い（最大風速33m/s以上～44m/s未満）

非常に強い（最大風速44m/s以上～54m/s未満）

猛烈な（最大風速54m/s以上）

以前、気象庁では、中心付近の最大風速が17.2m/s未満を「弱い熱帯低気圧」、台風の大きさは「ごく小さい」「小型」「中型」「大型」「超大型」、台風の強さは「弱い」「並の強さ」「強い」「非常に強い」「猛烈な」で表現していましたが、1999年8月14日、神奈川県山北町の玄倉川中州でキャンプをしていた子供6人を含む13人が「弱い熱帯低気圧」に伴う大雨による増水のため流され死亡した水難事故を受け、「弱い」「ごく小さい」等の表現は、大した影響がないと誤解される可能性があり、防災上好ましくないことから、翌2000年6月から「弱い熱帯低気圧」を単に「熱帯低気圧」に変更し、台風の大きさの「ごく小さい」「小さい」「中型」、台風の強さの「弱い」「並の強さ」の表現を廃止しました。



台風は進行方向の右側がより強風

台風などの熱帯低気圧は、北半球では半時計（左）まわりに風が吹き込むため、台風進行方向の右側では、台風の目に吹き込む風と台風自身が進む力が合成され風が強まります。

一方、進行方向の左側では、台風風の風速と進行速度が相殺されて風が弱められます。

イカ釣り漁船に注意！

そろそろ函館沖合いにもイカがやってくる時期ですが、イカ釣り漁船から「釣り船がイカを釣る目的で漁船に寄ってこられて危険。」というような苦情が入ることがあります。

イカ釣り漁船では、発している光の影響で周囲が見え難く衝突の危険があるため、近寄らず、イカ釣り漁船の動きに十分注意してイカ釣りを楽しみましょう。

